

## 翻訳にあたってのヒント

### その 63

#### スタッフについて

日本人が書いた英語をよく観察すると、このスタッフが誤って英訳されている英文をよく見かける。これは、常々日本語で「スタッフ」とよく言われることから、このまま英語で単数形でも複数形でも通じるという誤解からくるものだろう。英語の "staff" とは、一つの会社の社員全体をさすことばで、単数形で用いられるのが普通である。例えば、「我が社にはスタッフが 10 人いる」という日本語が、"We have ten staffs." と書かれていたりすると、ネイティブは何だって？という怪訝そうな顔をする。というのは、この英語が、「我々は 10 本の棒（あるいは、さおやつえ）を持っている」という意味としてしか理解されないからだ。この場合は、"We have a staff of ten."、"There are ten people on our staff."、もしくはストレートに "We have ten employees." とするのが正しい英語である。また、「スタッフの一員（社員・職員・部員・局員の一人）である」といいたいのなら、"a staffer, a staff member, one of the members of the staff" を使うか、"I am on the staff of our company." あるいは単に "I am on the staff." と書かねばならない。間違っても、"I am one of the staffs of our company." などと言ったり書いたりしてはならない。

同じことが、faculty（教授団、教授陣）についてもいえ、「私は教授団の一人である」を英語では、"I am a member of the faculty." などと表現したりする。（ただし、faculties になると、学部や能力の意味にもなるので要注意。）

こんな訳だからこんな単純な英語でも、ちょっと英語をかじった程度の人達に翻訳を任せると、とんでもない誤解が生じることになる（stuff と書かれている英文を見たこともある！）。過去にも書いたが日本語に浸透しているカタカナ英語を英語にする際には、辞書をよく引くなりして本当にそのまま通じるのかを注意深く調べる必要があると、そうした姿勢がなければ翻訳して金を稼ごうなどもってのほかである。

以上で、第 63 回目終了。